

2008年1月31日

報道関係各位

国立大学法人 東京大学
株式会社ベネッセコーポレーション

東京大学とベネッセコーポレーションが共同研究・開発
IT業界ビジネスパーソン向け
英語リスニング教材をポッドキャストで無料配信！
～すきま時間に生きた英語を学べる「英語deキャリアアップ」～

東京大学大学院 情報学環 ベネッセ先端教育技術学講座(東京都、以下:BEAT)とベネッセコーポレーション(岡山市、以下:ベネッセ)の社内シンクタンク、ベネッセ教育研究開発センター モバイルラーニング研究室は、多忙なビジネスパーソンがすきま時間に気軽に利用できるモバイル英語リスニング教材の研究・開発を共同で行っています。

このたび、1月30日(水)より、研究の成果から生まれた教材「英語deキャリアアップ」について、ポッドキャストでの無料配信を開始いたしましたのでお知らせします。

「英語deキャリアアップ」は、業務プロセスの中で英語を使う可能性が比較的高く、ポッドキャスト利用率の高い「IT業界」のビジネスパーソン向けの教材です。なお番組は1回につき10～20分程度で、毎週1番組ずつ全12回配信(4月下旬終了)の予定です。

「英語deキャリアアップ」は、東京大学の強みである「理論」と「基礎研究」をベースに、ベネッセの「教材開発ノウハウ」を活用した、先端教育技術研究の成果であり、今回の無料配信は、研究成果を社会に還元することと同時に、事業化の可能性を検証することを目的としています。

サービスのご利用や詳細につきましては以下のサイトをご参照ください。

■英語deキャリアアップ公式サイト: <http://www.eigodecareerup.com/?un=pr>

■「英語deキャリアアップ」の特長■

(1) 業界特化型のリスニングコンテンツ

リスニングコンテンツは、調査に基づいたIT業界のビジネスシーンに合わせて作られているので、実際に活用するシーンをイメージし、学習することができます。

(2) 大規模なテキスト分析により、頻出表現・語彙を特定

コーパス技術^{*}を使って英語のテキストを大量分析した結果抽出された、頻出表現・語彙を盛り込んでいるので、「仕事ですぐに使える英語」を学習することができます。

なお、番組は主に3つのセクションにより構成されています。

- IT業界での実際のビジネスシーンを想定したドラマ“Our Story Today”
- 毎回テーマにそって登場人物たちが重要表現を練習する “Coffee Break”
- 異文化コミュニケーションにおけるポイントや役立つ情報をまとめた“Business English Tips”

^{*}各番組の最後に、リスニングチェックの為のクイズが出題されます。番組の専用サイト

(<http://www.eigodecareerup.com/?un=pr>) から回答いただくと、毎回抽選でiTunesカードがあたります。

(3) 便利なツールによりすきま時間の有効活用を可能に

「英語deキャリアアップ」は、米アップル社のデジタルミュージックプレーヤー、iPod®で利用できるポッドキャストで配信します。忙しいビジネスパーソンでも通勤時間などのすきま時間を使って効率的に学習をすすめることができます。また、応用問題や追加情報をWEBやメルマガで提供するほか、学習した内容を確認するオリジナルドリルを、最新のiPodで利用可能なiPodQuizで提供します。

「英語 de キャリアアップ」番組内容イメージ(スクリプト抜粋)

■今回のテーマ:「オリエンテーションの受け方」■

いよいよ、オリエンテーションの日がやってきました。初めて外資系企業のコンペに参加することになり、緊張する秋山さん。SORA 社に到着し受付に向かうと・・・担当者と思われる女性に遭遇。鈴木さんが秋山さんに声をかけるところから、ドラマがスタートします。オリエンテーションに参加するとき、あなたは、どんな点に注意しますか？ 言葉が聞き取れなかった場合や、内容が不明確だった場合、なんと行って質問しますか？オリエンテーションの場面を想像しながら、ドラマの内容を聞いてみましょう。

..... (割愛)

In the meeting room

Sarah: Hi everybody. We'll start the presentation with an overview of SORA. As you know, SORA is opening its first **online store** in Asia, starting here in Japan. Please take a look at page 5 in your handout. As you can see, **our main priorities are usability and reliability**. Now, please take a look at this chart. This market research shows some very important results. It shows that SORA's **usability level** is the highest in the industry. I assume you know the basic details of the RFP. So, now, I'll just review the highlights. Okay, so, the SORA **e-commerce system** in Japan needs to look like our English and European language sites. It needs to be completely **scalable**. We expect to reach 300,000 shipments **within 8 months of our launch date**. Now, to reach that goal, we need 500,000 **page views** per week. The company we hire in Japan will **need an international approach to usability, design and project management**.

Suzuki: Ms. Ivins, may I ask you a question?

Sarah: Yes, of course. Please call me Sarah.

Suzuki: Does SORA prefer to use **open source software**?

Sarah: Yes, we definitely do. **Custom solutions** take too much time. And, they don't scale easily.

.....

■「英語deキャリアアップ」の活用のしかた■

サービスご利用イメージ



.....
※iTunesおよびiPodは米アップル社の登録商標です。

※コーパス技術とは、雑誌・書籍やウェブ上の文書、人の発話などをテキストデータ化したコーパス(言語データベース)を使って、語彙の出現頻度を分析したり意味・構文の解析を行ったりする技術の総称です。

—報道関係 お問い合わせ先—

- 東京大学 大学総合教育研究センター 准教授
(東京大学大学院 情報学環 ベネッセ先端教育技術学講座 フェロー)
中原 淳
電話:03-5841-2015

- 株式会社ベネッセコーポレーション
広報・IR部 (担当:西沢、坂本、濱野、中島)
電話:042-356-0657

《添付資料1》

■BEATについて■

BEATは、東京大学大学院 情報学環に開設されたベネッセの寄附講座です。2004年4月1日にスタートしたBEATでは、e-ラーニング、モバイルラーニング、ユビキタス学習システムなど新しい情報技術を用いた教育環境について、研究を進めています。2006年からは、多忙なビジネスパーソンがすきま時間を使って手軽に利用できるモバイル英語リスニング学習教材開発プロジェクト「なりきり！ English」を発足させ、一般企業の社員らを対象に実証実験を実施してきました。教材開発に際しては、最新の聴解指導理論の知見を導入しました。2007年には、新日本製鐵株式会社社員約50名を対象とした公開実証実験を実施しました。実証実験の結果、学習者が利用する文脈に即して作られたリスニング学習教材によって、リスニング能力が向上することがわかりました。学習者の学習継続率も93.62%と非常に高い数値を示しました。

■ベネッセ教育研究開発センター モバイルラーニング研究室について■

ベネッセのシンクタンクであるベネッセ教育研究開発センター内に、2005年に設置されたモバイルラーニング研究室は、モバイルメディアを使った新しい学びの可能性を検証しています。今回一般にむけて無料配信を開始した「英語deキャリアアップ」については、IT業界の業務プロセス分析や、国内の主要なIT企業へのヒアリング、仕事で英語を使うビジネスパーソン対象のネット調査、コーパス技術による大規模テキスト分析を活用した業界重要語彙抽出などを行い、業界別英語教材の研究・開発を進めてきました。

■iPodおよび、ポッドキャストを利用した学習について■

これまでに1億台以上を販売し、世界で最も人気のあるデジタルミュージックプレーヤーといわれる米アップル社のiPod®は、場所や時間を選ばずに学習できるメディアとしても注目を集めています。読み書き中心の学習方法では身につけることが難しい発音やイントネーションを手軽に学習することができます。また、番組コンテンツをポッドキャストでiPodにダウンロードして持ち運ぶことができるので、英語の勉強時間が確保できない多忙な社会人でも、通勤や移動時間を使っていつでも学習することが可能です。



iPodQuiz の画面例

■iPod Quizについて■

最新のiPod classicとiPod nanoには、iPod Quizというクイズアプリケーションが付属しています。このアプリケーションを使うことにより、iPodにオリジナルのクイズ番組を提供することが可能になりました。「英語deキャリアアップ」では、各回の内容に関連した確認問題を毎週配信します。利用者は番組専用サイト(<http://www.eigodecareerup.com/?un=pr>)より、「トリビアパック」という形式のファイルをダウンロードしてインストールし、iTunesからiPodにシンクすることで、いつでもどこでも確認問題を解くことができますようになります。

■約400名のネット調査「ビジネス英語の学習に関する意識調査」について■

仕事で日常的に英語を使用しているビジネスパーソンは、
「プレゼンテーションの場」に関して最も英語学習の必要性を感じている

調査は、2007年11月にネットリサーチを利用して、仕事で日常的に英語を使用している方（以下、使用者）206名、仕事で日常的に英語を使用していない方（以下、不使用者）206名の計412名に対して行いました。「英語deキャリアアップ」では、アンケート結果で抽出された、英語使用者がとくに英語学習が必要であると考える場面を優先的に取り入れてコンテンツを制作しています。

「学習意欲」が高まるビジネスシーンとは？

独自に設定した50種のビジネスシーンについて、「英語を使用した経験」・それぞれのビジネスシーンに関する「英語学習の意欲」・「英語学習経験」について聞きました。（※右図では50種の場面を15種の属性にまとめた平均値をとっています。）

その結果、使用者の「英語学習の意欲」が最も高いのは、「プレゼンテーション」の場面であることがわかりました。具体的には、「発表者として場を和ませる（77.7%）」「計画や業績についての説明や提案をする（76.7%）」「相手の意見に反論する（76.7%）」といったものです。

また、不使用者では「ネイティブ同士が話す業務の打ち合わせに参加して、内容を理解する（81.1%）」「会社・部門の紹介説明をする（79.1%）」「商品・サービスに関するクレームを伝える（77.7%）」の順番に「英語学習の意欲」が高くなり、使用者・不使用者のニーズの違いが明らかになりました。

